

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2019年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

(1)練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
9月12日(木)	13:00~17:00	13:00~17:00
13日(金)	7:30~8:40	7:30~17:00
14日(土)	7:30~9:00	7:30~17:00
15日(日)	7:30~9:00	7:30~15:00

※本競技場の練習は競技運営の準備と並行して行うので注意すること。

(2)練習会場では、事前に「練習会場予定表(別表P9)」を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

(3)本競技場での練習において、芝生内は全面立入禁止とする。

(4)本競技場並びに補助競技場での練習は、トラック種目・跳躍種目とし、競技場備え付けの用具を使用すること。なお、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。また、ミニハードル等を使用した練習は、補助競技場フィールド内のみ認める。

(5)投てき練習(メディシンボール等を含む)は、競技場内外を問わず一切禁止する。

(6)練習会場では、危険防止の観点から日傘の使用を禁止する。

3 招集について

(1)招集所は、本競技場第4ゲートの外側に設ける。

(2)招集開始時刻、完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3)携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。

(4)招集の手順

①競技者は招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り、両腰のやや後方に付けること。(4×100mRは第4走者のみ、4×400mRは第2・3・4走者がつける。)その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード、スパイクピン等の点検を受ける。

②点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。)その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。

(5)招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとして処理する。

(6)リレー種目について

①オーダー用紙は、各ラウンド(予選・準決勝・決勝)ともに、その種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、招集所へ提出すること。オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙に、上下とも同様に記入の上、招集所に提出し、控えを受け取ること。

②オーダー用紙の提出がない場合は、出場する意思がないものとして処理する。

③出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)②に準ずる。

④ユニフォームは、同型・同色を原則とする。

(7)やむなく欠場する場合は、「欠場届」を、招集開始時刻までに招集所に提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

4 競技進行について

(1)番組編成およびラウンドの抽選について

①トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技・投てき競技の決勝の試技順は、すべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、招集所および補助競技場入口付近の記録掲示板で発表する。

②トラック競技において次のラウンドへの進出者について

(ア)(+α)を決めるとき、最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

・空きレーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。

・空きレーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。

(イ)同着により着取りによる進出者が増えた場合は、(+α)での進出者数を減らす。

(ウ)800mとオープン・レーンを使用する種目は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2)競技について

- ①当該種目出場者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。
- ②スパイクのピンは11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については、12mm以下とする。
- ③ナンバーカードは配布された大きさのままでユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- ④不正スタートについては、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。(競技規則162条7、8、国内ルール適用)
- ⑤男子5000m、女子3000m、男女5000m競歩はグループスタートで行う。
- ⑥トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- ⑦4×100mRのマーカ―は、主催者が準備し、競技前に招集所で競技者係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。
- ⑧フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
- ⑨競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドから手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑩競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3)走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子走高跳	1年	1m70・1m85(練習)	1m75-1m80-1m83……	以降3cmずつ上げる
	2年	1m75・1m90(練習)	1m80-1m83-1m86……	以降3cmずつ上げる
女子走高跳	1年	1m44・1m56(練習)	1m47-1m50-1m53……	以降3cmずつ上げる
	2年	1m47・1m59(練習)	1m50-1m53-1m56……	以降3cmずつ上げる
男子棒高跳	1年	3m20・4m00(練習)	3m40-3m60-3m80-3m90……	以降10cmずつ上げる
	2年	3m40・4m40(練習)	3m60-3m80-4m00-4m10……	以降10cmずつ上げる
女子棒高跳	1年	2m20・2m80(練習)	2m30-2m40-2m50-2m60……	以降10cmずつ上げる
	2年	2m30・3m30(練習)	2m40-2m50-2m60-2m70……	以降10cmずつ上げる

※1位決定の上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

(4)三段跳の踏切板は、男子12m00、女子10m00に設置している。

(5)男女5000m競歩は競技運営上の理由により、下記のタイムを超えて周回を残している場合フィニッシュ地点で競技を中止させる。

・男子5000m競歩……30分

・女子5000m競歩……35分

5 競技用具について

(1)棒高跳ポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。

(2)やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してよい。ただし、「紀三井寺公園陸上競技場投てき競技用具一覧表」(別表)において、複数本準備しているやりについては、個人のやりの検定を行わない。また、検定を受けた個人のやりは、出場競技者全員で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の80分前~60分前までとし、第2ゲート付近の用器具庫で行う。なお、検定場所の表示は、用器具庫裏側の通路に示している。

6 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督(当該校顧問同伴)が所定の手続きをとるものとする。

7 表彰について

(1)決勝終了後、3位までの入賞者(リレーは6位まで)は種目表彰を行うので、成績発表後直ちに受賞者控所席(競技場正面玄関内ロビー)に集合すること。他種目に出場中の場合は、必ず表彰係に連絡のうえ代理人を出すこと。

(2)表彰式では以下の表彰を行うので当該校(者)は必ず参加すること。

- ①総合の部3位までの入賞校(男子総合・女子総合、学年別男子総合・学年別女子総合)
- ②男女各学年の優秀競技者
- ③男女各総合優勝校の顧問・監督

8 その他

(1)競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。

(2)記録は補助競技場入口付近の記録掲示板に掲示する。

(3)場所取りについて

- ①メインスタンド内に各府県の監督席を割り当てる。
- ②メインスタンド、サイドスタンド(通路等を含め)及びバックスタンドの芝生部分の場所取りは厳禁する。
- ③サイド芝生席及びバックスタンド(芝生の部分を除く)は、あらかじめ各府県別に割り当てているので、その使用については各府県に任せる。
- ⑤補助競技場内の場所取りは、一切禁止する。
- ⑥競技場外(公園内)のテント・シートの設置可能な場所については、あらかじめ各府県に割り当てているので、その使用については各府県に任せる。なお、割り当てられた場所以外での場所取りは厳禁する。
- ⑦場所確保のためのテントやシート等の設置は、9月12日(木)13:00からとする。
- ⑧それぞれ設置したテント・シート等は、各日とも競技終了後テントをたたみ、荷物を飛ばないようにして、まとめて置いておいてよいが、管理責任は問わない。
- ⑨雨天練習場におけるシート、マット等での場所取りは厳禁する。
- ⑩競技場正面2階玄関内のロビーでの場所取りは、通路確保の関係上厳禁する。

(4)のぼり・横断幕・部旗等について

- ①12日(木)13:00から設置可能とする。また、最終日まではったままでよい。
- ②のぼりの設置については、あらかじめ各府県に割り当てている場所のうちの最上段のみとする。
- ③設置については、通路等をふさがないように十分注意すること。

(5)競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。

(6)応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での発声や連呼応援は自粛すること(特にトラック競技のスタート直前は注意すること)。

(7)更衣は、補助競技場入口付近に更衣用テントを設置するので利用すること。競技場内の更衣室の使用は厳禁する。

(8)競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。

(9)スタンド及び競技場周辺の使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミは各校で責任を持ち帰ること。また、競技場周辺のゴミ箱等には絶対に放置しないこと。

(10)フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示する通路を移動すること。また、通行禁止や使用禁止の表示がある場合は厳守すること。

(11)貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。

(12)ポールの保管場所は、第3ゲート付近の倉庫に設ける。

(13)個人情報の取り扱いに関して

- ①本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
- ②参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得た物とみなし、氏名・学校名・学年・記録を紹介し大型映像装置ならびに掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
- ③主催者側が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。